

戸山

新宿区立戸山小学校

ポストコロナの子ども達の心を支える

生活指導主幹教諭

生活指導主任をしている私の元には、多くの子ども達の情報が寄せられます。4年ぶりに復活した応援団の練習に燃える子、下級生のお世話をよくする子、友だちと遊ぶのが何より好きな子、タブレットの操作がとて上手な子…。一人一人の個性があり、どの子も可愛く、大切な戸山小の子ども達です。

これまで新型コロナウイルスの感染予防に関し、保護者の皆様に数多くの場面でご協力いただいたことに、改めてお礼申し上げます。毎日の検温を始め、医療機関への受診や分散登校のオンライン授業、学校行事への参観方法など、保護者の皆様のご協力あってこそ、学校を再開・継続することができました。

分類が変わり、マスクをしなくても良い生活になったものの、高学年ほど過去3年間で「新しい日常」として根付くと実感しています。学校としては、すべてを以前の通りというよりは、新しい日常とのハイブリッドな学校生活を模索しています。

最新の児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果からは、ストレスによる暴力行為の増加、交友関係を築く機会やスキルの低下による不登校の増加、学校行事などの活動が徐々に再開されたことによるいじめ報告件数の増加が報告され、コロナ禍の生活が子ども達の心に大きな影響があったことが伺えました。

新宿区は、6・11・2月を「ふれあい月間」とし、学校が「いじめ等のアンケート」を実施します。子ども達の悩みや困り感を把握し、いじめや不登校、その他問題行動を早期発見し、迅速に対応して早期解消につなげます。

さらに、4・5・6年生は「より良い学校生活と友達づくりのためのアンケート」(hyper-QU)を実施致します。子ども達の集団生活での心理状況を把握し、アンケートと連動して子ども同士のトラブルを効果的に解決するため、5月に実施済みです。

いじめや児童の悩みには、校内の学校スタッフ全員が協力し、いじめ撲滅に努めています。詳しくは、学校ホームページの「いじめ防止対策基本方針」をご覧ください。

どの子も大切な戸山小の子ども達です。一人一人の良さを認め、子ども達の心に寄り添いながら、誰もが安心して登校できる戸山小学校を目指します。

体力づくりと運動会

体育主任

さまざまな規制がなくなり、思い切り体を動かせるようになりました。マスクを外している子が多くなり、外で遊んだり、友達と楽しそうに活動したりする様子は、心なしか以前より笑顔も増えたように感じます。今年度の戸山小学校の運動会は春と秋の2回を予定しており、春の運動会は競技種目を行います。短距離走をはじめ、玉入れや、綱引き、騎馬戦など、大人がイメージする「運動会」そのままの競技を、行うことが許されるようになったことをとても嬉しく感じています。勝ち負けに一喜一憂する中で、相手を称え、自分の頑張りを誇れるように、勝負以上に大切なことを伝えていければと思います。また、6月は新体力テストも予定しております。今年度はコロナ禍前のように多くの学年が校庭遊びを思い切り楽しめるようになりました。少しずつですが運動する機会を確保できるようになりました。新体力テストで計測した様々な種目の記録をもとに、体育の指導内容を見直し、子ども達の心身ともに健やかな成長につなげていければと考えています。



(写真) ふれあい班活動の様子